

令和4年(2022年) 1月19日(水) 13804号



株式会社日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

SFCCに製造事業統合

昭和電線・古河電気

昭和電線ホールディングス株式会社(長谷川隆代社長)と古河電気工業株式会社(小林敬一社長)はこのほど、建設・電販市場向け汎用電線の共同販売会社SFCC株式会社に両社グループの製造事業を統合し、両社の出資比率を変更することに合意したと発表した。

国内の建設・電販市場では、中長期的には首都圏外での需要縮小と人口減少に伴う新設住宅着工戸数の減少が見込まれ、昭和電線と古河電気は汎用電線での業務提携

を図り、2020年4月にSFCCの営業を開始した。提携では販売業務の効率化などを進めてきたが、今回、コロナ禍や原材料・物流価格の高騰など変化が起きるなか、さらに販売事業と製造事業を一貫して効率的に営むことで合意した。

SFCCは、製造事業統合と合わせて、両社グループからの事業譲渡の対価に相当する第三者割当増資を行い、これを昭和電線と古河電工がそれぞれ引き受ける。これにより出資比率は、現在の昭和電線60% 古河電工40%から、それぞれ80%、20%に変更する。効力発生は2022年7月1日付の予定。

11月分取り扱い

主要3項目 2か月連続で前年超え

非鉄全連

非鉄金属リサイクル全国連合会(橋本健一郎会長)はこのほど、11月分の非鉄金属原料取り扱い統計結果をまとめ発表した。銅、銅合金、アルミニウムはいずれも、受入・出荷とも2020年11月の水準を上回った。増加幅は、受入が2.9ポイント~137.6ポイント、出荷は2.6ポイント~37.0ポイント。「その他」は受入・出荷とも同マイナスだった。

銅は、月間受入が11,371.8トンで前年同月比102.9%、月

11月分 非鉄金属原料取り扱い統計結果

単位: トン、下は前年同月比

調査項目	月初在庫	月間受入	月間出荷	月末在庫
銅	9,269.1	11,371.8	11,481.3	9,247.6
	84.4%	102.9%	105.1%	82.6%
銅合金	6,598.7	6,223.0	6,116.9	6,797.8
	84.0%	103.0%	102.6%	86.9%
アルミニウム	3,701.0	7,696.7	7,535.2	3,882.5
	148.4%	137.6%	137.0%	146.2%
その他	5,279.2	6,533.9	6,006.1	5,578.0
	107.3%	92.5%	91.1%	109.6%

間出荷は11,481.3トンの同105.1%。同様に、銅合金は6,223.0トン103.0%、6,116.9トン102.6%。アルミニウムは7,696.7トン137.6%、7,535.2トン137.0%。その他は6,533.9トン92.5%、6,006.1トン91.1%。

基礎データ(千円)は、電気銅建値平均が1165.2、前月比+12.1、電気亜鉛建値は433.8、同-2.6、電気鉛建値331.8、同+12.7。

日伸黄銅削粉買値は、842(1日)、820(5日)、832(9日)、819(11日)、831(15日)、818(17日)、835(24日)、851(26日)。

LMEアルミ先物平均は2646.84ドル、同-323.16ドル。為替平均は1ドル=115.14円、同+1.03円だった。

故銅・銅滓 アルミ原料

高価即金買入

——ご照会を乞う。

森下商店

大阪市西成区南津守7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579

NikkanKinzokuWebJournal



https://nikkankinzoku.co.jp/

PW: KINZOKU2201

ログインにはパスワードが必要です。
パスワードは、随時更新いたします。

鉱工業出荷・総供給11月 全体・内需 前月比最大の伸び率 供給不足 緩和進む

経産省

経済産業省はこのほど、2021年11月分の鉱工業出荷内訳・総供給の概要を発表した。出荷は、指数95.3(100=2015年、季節調整済)、前月比7.4%プラスと2か月連続の上昇。内需(国内向け出荷)が同7.1%と4か月ぶりに上昇し、外需(輸出向け出荷)も、同6.3%と4か月連続で上昇。出荷全体と内需は、現行2015年基準で最大の前月比伸び率を記録した。

9月までは、半導体不足に加え、コロナ拡大に伴うアジアでの部品供給不足などから低下していたが、10月は影響緩和などにより上昇。11月は一段と緩和されたことを受け、特に自動車産業を中心により大きく上昇した。

内需では生産財、耐久消費財などが上昇に寄与し、外需では耐久消費財、資本財などが寄与した。出荷水準をみると、内需の出荷指数は93.1で、2021年7月の94.0以来の水準に大きく上昇。外需は101.9となり、同様に同7月以来の高水準となった。

内需の業種別では、12業種中11業種で前月比上昇。輸送機械工業が、10月の前月比30.9%上昇に引き続いて35.3%の上昇。上昇寄与の約6割が輸送機械工業となっており、なかでも乗用車、車体・自動車部品などが上昇した。次いで大きかったのは汎用・業務用機械工業で、なかでも汎用機械器具部品、ボイラ・原動機などが上昇している。

外需では12業種中6業種で前月比上昇。特に寄与が大きかったのは輸送機械工業で、外需上昇寄与の約8割を占めている。なかでも乗用車、船舶・同機関

などが上昇し、次いで電子部品・デバイス工業、なかでも集積回路、電子部品などが上昇している。

需要先用途別では、内需で上昇寄与が大きかったのは、製造業の中間投入となる生産財で、次いで耐久消費財、資本財と続き、建設財、非耐久消費財は低下した。外需では、耐久消費財の寄与が最も大きく、次いで資本財、生産財が上昇、建設財、非耐久消費財は低下となった。供給制約の緩和により、国内では自動車産業を中心に生産が回復に転じて生産財の国内出荷が上昇。外需は、完成車の輸出向けが好調だったとみられる。

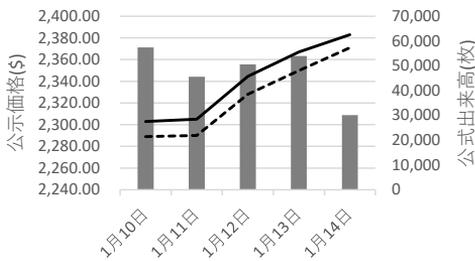
輸出では全ての地域が上昇し、特に欧州、ASEANなどが大きく伸びた。欧州は、10月の大幅上昇に引き続き2か月連続2桁の大幅上昇。ASEANは、2020年5月以降上昇低下を繰り返しながら回復傾向にあり、2か月ぶりの上昇となった。全般的に輸出は回復傾向となっており、11月は主要仕向地以外の回復力が強くなっている。

輸入は、季節調整済指数102.1、前月比4.7%と3か月ぶりに上昇した。業種別では、13業種中12業種が前月比上昇、1業種が低下。鉱業、輸送機械工業などが上昇に寄与し、電気・情報通信機械工業が低下した。国産は前月比7.4%と2か月連続の上昇となり、鉱工業総供給は前月比6.5%と2か月連続の上昇となった。

先行きについては、東南アジアでの部品供給不足が解消されつつあることや、内外経済の回復に伴い出荷も中期的には回復が続くことが予想されるため、内需外需とも上向くことも期待されるが、新変異株の発生や世界的な半導体不足などに注意する必要があるとしている。

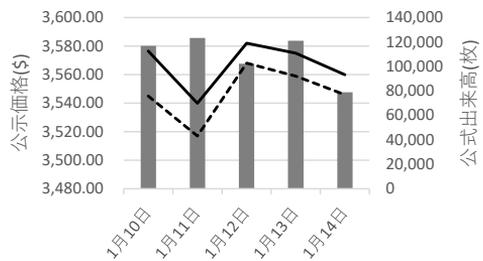
LME公式値週間推移 1月10日~1月14日(現地)

LME鉛



出来高 直物 先物

LME亜鉛SHG



出来高 直物 先物

日刊金属 既刊収録サイト <https://nikkankinzoku.co.jp/>

年頭のご挨拶



一般社団法人 日本電線工業会
会長 井上治

2021年度の銅電線需要は、通信部門、建設・電販部門を除いて、前年度に比べ増加する見通しとなっております。通信部門はGIGAスクール関連の反動減で減少見込みですが、電力部門は更新需要や再生可能エネルギーの進展により、増加を予想しています。電気機械部門は、電子・通信、電装品関連に牽引され、電動化、高機能化が進む自動車部門とともに好調を維持、その他内需部門では民間設備投資が徐々に回復することを見込み、輸出部門は、設備投資の回復や脱炭素化に向けた投資需要もあり増加を予想しています。需要のほぼ半分を占める建設・電販部門は、コロナ禍の影響が長期化することに加え、首都圏再開発等大型案件の端境期となり、昨年度をわずかに下回りそうです。以上のことから2021年度の銅電線の出荷は、昨年度実績比2.3%増の63万7千トンとなる見込みです。

国内向け光ファイバ需要は、5Gの普及による通信線路設備向け、データセンター、工場内ローカル5G関連需要は引き続き堅調に推移することを見込んで、前年度比6.7%増の7百26万kmcとしました。

2020年には見通しが困難なため見送った中期需要予測を昨年は2年ぶりに策定しました。銅電線需要は、2020年度からの年平均伸び率プラス1.4%で、2025年度の銅電線需要を66万9千トンと見込んでおります。電力部門では再エネ関連や直流連系線の需要増、自動車部門はCASEの領域で技術革新が進むこと、建設・電販部門は、大阪・関西万博関連を始めとする都市の大型プロジェクトのほかリニア中央新幹線や整備新幹線延伸など

好材料があり、今後の電線需要拡大に期待しております。

当会の事業活動では、今年も引き続き4つの重点活動、環境問題、中堅中小企業の経営基盤強化支援、グローバル化、商慣習の改善に取り組みます。

環境問題への対応では、「環境と経済性を配慮した最適導体サイズ設計・ECSO（エクソ）」の普及活動を国内外で進めてまいりましたが、その活動が実を結び、

2022年5月にはJISとして正式発行される見通しです。地球温暖化ガス排出量削減はこれまで「低炭素社会実行計画」に基づいて一定の成果をあげてきましたが、政府の2050年カーボンニュートラル方針を受け、名称を変えて「カーボンニュートラル行動計画」として取り組むことが求められ、2030年目標及び2050年に向けての取り組みを改めて検討してまいります。

「中堅中小企業の経営基盤強化支援」は、当会会員の80%以上が中堅・中小企業であり、その支援は重要な責務と認識しています。本年もコロナ感染への適切な対策を講じつつとなりますが、「生産性向上・デジタル化・働き方改革」推進などに関連する諸施策、支援事業の情報入手と提供を迅速に進めるとともに、中堅企業部会活動、新人・中堅教育や各種セミナーの開催など中堅・中小企業会員の経営基盤強化に向けた支援を続けてまいります。

「グローバル化への対応」では、今年も海外を含めた出荷統計を継続して発信してまいります。また、安全保障貿易管理に関する情報提供や説明会の開催など、引き続きグローバル対応に資する通商・貿易関連情報のタイムリーな発信に努めてまいります。

(「電線時報No.775」より抜粋)

材料不足に長納期オプション開始

プロトラブズ

完全非対面のDXで切削加工を手がけるプロトラブズ合同会社(今井歩社長、神奈川県座間市)はこのほど、深刻な材料不足によりサプライチェーン正常化の見通しが立たないなか、製造業の納期調整ニーズに対応するため、7営業日または12営業日に納品する長納期オプションを始めた。

各種素材の納期の延期や未確定は、製造業全体に広がり大きな問題となりつつある。コロナ禍からの回復で、日本工作機械工業会は2021年の工作機械受注見通しを前年比60.8%増の1兆4500億円に上方修正する一方、原材料、部品不足による需要の急拡大と供給のひっ迫が製造業に大きな影響を与えている。

メーカーには多くの注文が入っているものの国際的なサプライチェーンの混乱により部品が不足し、稼働率が上げられず、国内製造業の弱体化が進むと危惧されている。

こうした背景から、深刻な材料不足による納期の長期

銅・非鉄原料は	ホームページはこちら▶	 QRコード	大阪市大正区
	www.kimura-metal.co.jp		
	 木村金属株式会社 06-6552-7840		

化ニーズに柔軟に対応するため、長納期オプションをスタートさせた。価格は、納期に応じ、7営業日の場合は標準納期の約18%マイナス、12営業日では約27%マイナスとしている(形状によって変動)。

同社は昨年6月、午前10時までに発注するとパーツがその日のうちに加工・出荷される当日出荷オプションを開始。これで、標準3営業日から、長納期オプションと合わせ6つの納期から選択することができるようになった。

故銅市況

18日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の9,900.00ドルより225.50ドル安の9,674.50ドル。直物の終値は、前営業日の9,730.25ドルより18.75ドル高の9,749.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,885.00ドルより225.00ドル安の9,660.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,719.50ドルより11.50ドル高の9,731.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）は休場。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場3月限は、前営業日の7万1,550元より1,320元安の7万0,230元。

18日の東京為替市場TTSレートは、前日の115.34円より0.22円の円安ドル高、1ドル=115.56円。18日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,674.50ドル。この値と18日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日117万9,000円より2万4,000円安の115万5,000円。この日、電気銅建値は117万円に据え置かれた。

為替動向

17日、ロンドン外国為替市場の英ポンドは対ドルで続落。16時、前週末と比べ0.0040ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.3640ドル~1.3650ドルだった。ユーロも対ドルで続落。同じく0.0030ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.1400ドル~1.1410ドルだった。

18日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落していた。8時30分、前日17時と比べ0.22円の円安ドル高、1ドル

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

(1月17日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が902~907、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは867~872、並銅は832~842、込銅（高品位=約97%）は822、セパは673~678。コーペルは要り用筋で614、それ以外は599ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋624、それ以外594~604どころの値頃。並青銅鋳物削粉は728~733どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が882~902、上銅新くずが847~867、普通上銅が822~842、2号銅線が814~834、並銅が812~832、込銅(94-97%)が760、込銅(90-93%)が762、下銅が430~480、セパが638~673、コーペルが554~599、黄銅棒材が549~594、黄銅削粉が544~589、黄銅ラジが509~517、交叉ラジが474~531、黄銅銅鋳物が475~482、送りが267~286、上青銅鋳物が725~745、並青銅鋳物が705~720、上青銅鋳物削粉が720~740、並青銅鋳物削粉が695~715どころ。

=114.62円~114.63円だった。前週、日銀の金融政策修正を示唆する報道を契機に円は113円台に上昇していたが、今週になって日銀の黒田総裁は金融政策の方向転換に否定的な見解を示すとの見方が市場で広がっており円売りが先行した。円は対ユーロでも小幅ながら下落。同じく0.03円の円安ユーロ高、1ユーロ=130.72円~130.76円だった。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (1月前半)

2S=235円~250円、63S=219円~245円、アルミホイール(1P)=131円~240円、ビス付サッシ=147円~151円、エンジンコロ=180円~163円、込合金(機械鋳物)=158円~161円、缶プレス(ソフト)=131円~136円。

関西地区 (1月前半)

2S=202円~205円、63S=205円~208円、印刷版=195円~198円、アルミホイール(1P)=176円~186円、ベースメタル=184円~188円、機械鋳物=131円~134円、ダライ粉=110円~113円、ビス付サッシ=118円~123円、缶プレス=118円~120円。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



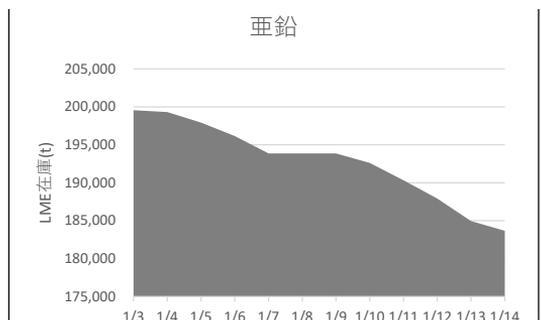
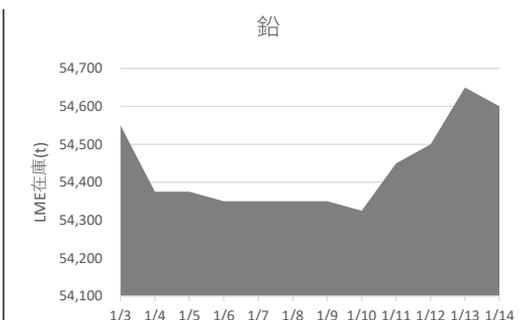
角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314

電話 0774-43-6700(代表)

LME認定倉庫在庫量推移 1月3日~1月14日(現地)





LME銅相場は続落 直物終値は反発して9,749.00ドル
 COMEX銅相場は休場 SHFE銅相場は続落
 LME非鉄相場はまちまち ニッケルは反落、直物は月初よりおよそ7%高
 錫は反発、月初よりおよそ6%高 アルミは月初よりおよそ7%高



18日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月15日入電の9,900.00ドルより225.50ドル安の9,674.50ドル。2営業日の続落で2.98%安。この週2.28%の下落。1月に入って0.18%の下落。3か月物の前場売値は、1月15日入電の9,885.00ドルより225.00ドル安の9,660.00ドル。2営業日の続落で3.06%安。この週2.28%の下落。1月に入って0.23%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地1月14日の8万6,300トンより6,550トン増の9万2,850トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、マーティン・ルーサー・キング・ジュニアの日の祝日で休場。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、1月限が、1月15日入電の7万1,670元より1,090元安の7万0,580元。2営業日の続落で1.84%安。この週1.52%の下落。1月に入って0.92%の上伸。2月限は、1月15日入電の7万1,460元より1,310元安の7万0,150元。2営業日の続落で2.45%安。この週1.83%の下落。1月に入って0.04%の上伸。

錫は反発

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月15日入電の4万0,850.00ドルより650.00ドル高の4万1,500.00ドル。反発して1.59%高。この週1.59%の上伸。1月に入って4.71%の上伸。3か月物の前場売値は、1月15日入電の4万0,500.00ドルより600.00ドル高の4万1,100.00ドル。反発して1.48%高。この週1.48%の上伸。1月に入って5.12%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地1月14日の2,150トンよりトン減の2,150トン。

鉛も反発

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月15日入電の2,383.00ドルより25.00ドル安の2,358.00ドル。5営業日ぶりの反落で1.05%安。この週1.05%の下落。1月に入って1.27%の上伸。3か月物の前場売値は、1月15日入電の2,371.00ドルより18.00ドル安の2,353.00ドル。5営業日ぶりの反落で0.76%安。この週0.76%の下落。1月に入って2.80%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地1月14日の5万4,600トンより250トン減の5万4,350トン。

亜鉛は続落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月15日入電の3,560.00ドルより25.00ドル安の3,535.00ドル。3営業日の続落で1.31%安。この週0.70%の下落。1月に入って2.62%の下落。3か月物の前場売値は、1月15日入電の3,546.00

ドルより21.00ドル安の3,525.00ドル。3営業日の続落で1.21%安。この週0.59%の下落。1月に入って0.40%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地1月14日の18万3,675トンより2,225トン減の18万1,450トン。

アルミは続伸 アルミ合金は上伸 北米特殊はまちまち

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月15日入電の2,977.50ドルより31.50ドル高の3,009.00ドル。2営業日の続伸で1.66%高。この週1.06%の上伸。1月に入って7.23%の上伸。3か月物の前場売値は、1月15日入電の2,980.00ドルより16.00ドル高の2,996.00ドル。2営業日の続伸で0.88%高。この週0.54%の上伸。1月に入って6.62%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地1月14日の89万1,550トンより万1,250トン増の89万2,800トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月15日入電の2,300.00ドルより10.00ドル高の2,310.00ドル。上伸して0.43%高。この週0.43%の上伸。1月に入って7.44%の上伸。3か月物の前場売値は、1月15日入電の2,300.00ドルより10.00ドル高の2,310.00ドル。上伸して0.43%高。この週0.43%の上伸。1月に入って7.34%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月15日入電の2,821.00ドルより5.00ドル安の2,816.00ドル。10営業日ぶりの反落で0.18%安。この週0.18%の下落。1月に入って10.43%の上伸。3か月物の前場売値は、1月15日入電より横ばいの2,801.00ドル。この週横ばい。1月に入って10.28%の上伸。

ニッケルは反落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月15日入電の2万2,850.00ドルより375.00ドル安の2万2,475.00ドル。反落して1.64%安。この週1.64%の下落。1月に入って7.41%の上伸。3か月物の前場売値は、1月15日入電の2万2,425.00ドルより505.00ドル安の2万1,920.00ドル。反落して2.25%安。この週2.25%の下落。1月に入って5.64%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地1月14日の9万7,746トンより708トン減の9万7,038トン。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
 各種非鉄金属屑

株式会社原田商店

代表取締役 原田靖章
 〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
 TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

LME公示価格(US\$)／1月17日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,674.50	41,500.00	2,358.00	3,535.00	3,009.00	2,310.00	2,816.00	22,475.00
	前営業日比	▲ 225.50	650.00	▲ 25.00	▲ 25.00	31.50	10.00	▲ 5.00	▲ 375.00
先物	公示価格	9,660.00	41,100.00	2,353.00	3,525.00	2,996.00	2,310.00	2,801.00	21,920.00
	前営業日比	▲ 225.00	600.00	▲ 18.00	▲ 21.00	16.00	10.00	0.00	▲ 505.00

海外非鉄金属相場

(1月18日 入電・現地 1月17日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

銅 AG 前場 後場
現物 9674.5 9738.0
前日比 ▲225.5 ▲29.5 (カーブ)
先物 9660.0 9724.0 9724.0
出来高 前日比 ▲225.0 ▲36.0 84,246

錫 HG 前場 後場
現物 41500.0 41618.0
前日比 650.0 797.0 (カーブ)
先物 41100.0 41250.0 41250.0
出来高 前日比 600.0 800.0 4,313

鉛 前場 後場
現物 2358.0 2363.5
前日比 ▲25.0 ▲18.0 (カーブ)
先物 2353.0 2355.5 2355.5
出来高 前日比 ▲18.0 ▲13.0 36,911

亜鉛 SHG 前場 後場
現物 3535.0 3523.5
前日比 ▲25.0 ▲12.5 (カーブ)
先物 3525.0 3512.5 3512.5
出来高 前日比 ▲21.0 ▲11.0 104,524

アルミ HG 前場 後場
現物 3009.0 3008.5
前日比 31.5 36.0 (カーブ)
先物 2996.0 2999.0 2999.0
出来高 前日比 16.0 24.5 343,468

アルミ合金 前場 後場
現物 2310.0 2310.0
前日比 10.0 10.0 (カーブ)
先物 2310.0 2310.0 2310.0
出来高 前日比 10.0 10.0 0

北米特殊アルミ合金 前場 後場
現物 2816.0 2816.0
前日比 ▲5.0 0.5 (カーブ)
先物 2801.0 2801.0 2801.0
出来高 前日比 0.0 0.0 0

ニッケル 前場 後場
現物 22475.0 22585.0
前日比 ▲375.0 142.0 (カーブ)
先物 21920.0 22150.0 22150.0
出来高 前日比 ▲505.0 47.0 75,562

NY コメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント
銅HG 金 銀 プラチナ パラジウム
1月限 - - - -
2月限 - - - -
3月限 - - - -
4月限 - - - -
5月限 - - - -
前日比 - - - -
出来高 - - - -

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)
為替相場 LME (円ベース/キロ) COMEX 上海
銅 錫 鉛 亜鉛 アルミ ニッケル 銅
TTS 9675 41500 2358 3535 3009 22475 - 70580 21170 24500 15590
115.56 1157 4996 309 449 365 2797 - 1295 388 450 286
+0.22 ▲24 85 ▲3 ▲2 4 ▲38 - ▲13 1 ▲3 2

フリー・マーケット

米国生産者価格 (地金)
銀(セント/オンス) EH社 2315.0 (0.0)
銀(セント/オンス) HH社 2294.5 (0.0)

NY相場
取引業者銅(セント/ポンド) - - -
2号銅線くず(セント/ポンド) - - -

ロンドン相場 (ドル)
金 (オンス) 1817.85 (▲5.10)
アンチモン99.65% (トン) 13200 - 13700
ビスマス99.9% (ポンド) 3.90 - 4.10
カドミウム99.99% (ポンド) 1.40 - 1.50
インジウム99.99% (キロ) 260 - 280
セレンウム99.5% (ポンド) 9.50 - 11.00
スポンジチタン99.5% (キロ) 8.00 - 9.00
フェロモリブデン欧州産65% (キロ) 44.00 - 45.50
コバルトカソード99.8% (ポンド) 33.50 - 34.50
マグネシウム中国産99.9% (トン) 8000 - 8600
タングステンAPT(MTU単位) 32.0 - 33.0
タンタル鉱石30-35% (ポンド) 83 - 87

KLTM 錫 (MYR/KG, 出来高トン)
(17日) (18日)
相場 169.21 -
出来高 6 -
ドル建て価格 40425 -
ODレート 3.7600 3.7600
M\$/US\$レート 4.1858 4.1839
採算円/キロ 5196 -
US\$採算円/キロ 4667 -

LME 在庫 (トン)
在庫 増減
銅 92,850 6,550
錫 2,150 -
鉛 54,350 ▲250
亜鉛 181,450 ▲2,225
アルミ 892,800 1,250
アルミ合金 2,060 -
北米特殊アルミ合金 9,040 460
ニッケル 97,038 ▲708

上海在庫 (トン)
在庫 増減
(1/14 現在) 銅 30,330 1,148
アルミ 310,600 ▲4,259
亜鉛 63,097 ▲1,239
鉛 84,751 ▲4,396
ニッケル 4,711 ▲148

LME プレマーケット (ドル) 先物気配
(1/19) 銅 9,756.5 - 9,761.5
(3:00AM 現地) 錫 41,365.0 - 41,585.0
鉛 2,360.5 - 2,362.5
亜鉛 3,519.5 - 3,522.5
アルミ 2,994.0 - 2,997.5
ニッケル 22,235.0 - 22,255.0

上海相場 トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込
銅 アルミ 亜鉛 鉛 ニッケル
1月限 70580 21170 24500 15590 163710
2月限 70150 21070 24545 15635 162790
前日比 ▲1090 ▲40 ▲300 45 ▲1730
出来高 3105 5125 875 70 90

※18日のKLTMは休場です。
元・円= 18.35
銅 アルミ 亜鉛 鉛
▲13 1 ▲3 2

非鉄金属製品相場

(1月18日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1440	1355	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1490	1405	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 52~54
銅大板2×1×2	1570	1555	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 93~96
銅管(ベース)	1555	1535	鉛板1.5ミリ	560	560	3C×1.6 96~99
水道用管(m当たり)13ミリ	1465	1460	鉛線3ミリ	460	460	3C×2.0 143~146
銅棒25ミリ	1370	1345	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1410	1375	アルミ箔0.007ミリ	1075	1035	1.6mm 29.8~31.7
銅線0.9ミリ	1460	1415	〃 小板1ミリ	710	665	5.5sq 81.3~86.4
銅帯6×50	1390	1355	〃 大板1ミリ	690	655	14sq 203~216
銅平角線	1660	1585	〃 5052板	745	705	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1185	1120	〃 5083板	760	720	600V 3C×38 1543~1640
〃 0.3ミリ	1215	1150	〃 2017板	1200	1265	600V 3C×60 2372~2522
黄銅大板2×1×2	1335	1300	〃 線3ミリ	725	655	600V 3C×100 3986~4237
黄銅管	1680	1580	〃 快削棒50ミリ	910	870	6kV 3C×38 2484~2638
復水器用黄銅管	1650	1560	〃 合金棒50ミリ(17S)	895	850	6kV 3C×60 3453~3667
黄銅棒快削25ミリ	970	940	〃 合金棒50ミリ(56S)	850	810	CVV (関西~関東)
六角棒	1000	970	黄金属(一般小口向け)			3C×2 123~126
四角棒	1030	1000	白金(グラム)		◎ 4048	4C×2 164~168
鍛造用	1010	980	パラジウム(グラム)		◎ 7810	6C×2 234~239
ネーバル	1110	1080	金(グラム)		◎ 7414	7C×2 267~274
高力	1110	1080	銀(キログラム)		◎ 96690	合金鉄 11月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1390	1330	レアメタル輸入価格	11月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 195
黄銅平角線ロール仕上	1590	1540	金属ケイ素(99.99%未満)	907		〃 その他 -
黄銅条1.5×100	1185	1140	モリブデン酸化物	3174		フェロシリコン55%以上 286
リン青銅板一般用1.0ミリ	2610	2770	タンタル	41311		フェロクロム4%以上炭素含有 191.5
〃 バネ用0.3ミリ	2870	3030	マグネシウム	456		フェロモリブデン純分60%以上 3194
リン青銅棒25ミリ	2710	2890	コバルト	6437		フェロバナジウム 2816
リン青銅線3ミリ	3040	3210	インジウム	26891		フェロニッケル33%未満 504.2
洋白板一般用1.0ミリ	3400	3440				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3520	3560				

減摩合金 1月17日改定

銅合金地金 1月6日発表

(500kg以上、大口価格)		(標準価格) 大阪	
1種	5520	BC 1種	1180
2種	5340	2種	1520
3種	5155	3種	1615
4種	4510	6種	1290
5種	4345	7種	1405
7種	1400	YBSC 3種	1040
8種	1180	LBC 3種	1555
9種	1020	PBC 2種	1645



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(1月18日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		40,000 ~ 43,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	高値	安値
非鉄原料 (炉前材)								
1トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
1号銅線	1035	1035	電 気 銅	◎ 1133	◎ 1128	◎ 1135	◎ 1130	
2号銅線	983	—	電 気 亜 鉛	448	442	448	442	
上銅(新切)	1012	1000	蒸 留 亜 鉛	436	430	436	430	
雑ナゲット	856	866	再生ダイカスト亜鉛2種	367	361	367	361	
並銅	933	933	再 生 亜 鉛 (98%)	320	314	320	314	
下銅	911	906	電 気 鉛	319	314	319	314	
銅削粉	913	909	再 生 鉛 1 号	295	286	296	291	
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	300	295	301	297	
新切黄銅セバ	787	789	錫 1 号	◆ 4950	◆ 4900	◆ 4950	◆ 4900	
コーベル	752	747	ア ン チ モ ン	1700	1650	1700	1650	
黄銅棒地	734	735	ニッケル(メッキ用)	2650	2600	2650	2600	
黄銅削粉	728	731	コ バ ル ト	9500	9200	9500	9200	
並黄銅	652	653	セ レ ニ ウ ム	3300	3100	3300	3100	
黄銅ラジエター	587	567	ビ ス マ ス	1250	1150	1250	1150	
交叉ラジエター	601	610	カ ド ミ ウ ム	480	430	480	430	
黄銅鑄物	659	—	水 銀	1800	1700	1800	1700	
山送り(55%)	◆ 380	—	アルミ地金99.70%	◎ 390	◎ 386	◎ 392	◎ 388	
上青銅鑄物	807	—	アルミ二次地金99%	307	302	307	302	
並青銅鑄物	805	804	〃 90%	276	271	276	271	
上青銅鑄物削粉	800	—	アルミ二次合金ADC12	456	451	459	454	
並青銅鑄物削粉	790	792	鑄 物 用 C2BS	481	476	483	478	
新切リン青銅(伸銅)	—	1060	青銅合金地金3種	1560	1550	1490	1480	
〃 (鑄物)	927	—	〃 6種	1245	1235	1210	1200	
リン青銅削粉	840	840	ハ ン ダ 錫 60 %	3720	3680	3740	3710	
新切洋白(電子材)	850	845	〃 50 %	3200	3150	3220	3190	
新切亜鉛	174	174	〃 40 %	2745	2685	2700	2670	
ダイカストくず	139	139	減 摩 合 金 2 種	5330	5300	5335	5305	
亜鉛ドロス	117	128	〃 4 種	4480	4455	4485	4455	
上鉛	110	108	〃 7 種	1355	1305	1355	1305	
電池素鉛ケース込	20	20	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		125	125	
活字鉛	95	92		〃 ダライ粉		110	110	
新切アルミ1級	220	224		高耐食ステンレスSUS316		220	220	
新切サッシ1級	220	220		耐熱ステンレスSUS310		265	265	
新切合金1級	210	215		13クローム 新切	◆ 28	◆ 26		
機械鑄物1級	142	140		ハイス 9種		200	200	
ビス付サッシP	156	155						
合金削粉P	105	104						
込ガラP	100	96						
カン・バラ	137	133						

非鉄金属材料相場面

PW:KINZOKU2201